

2019年9月発行

茨木御堂 第267号



真宗大谷派



茨木別院

(輪番 高木 文善)

〒567-0817 茨木市別院町3-31
TEL (072) 622-2903
FAX (072) 625-9445

わがこころよければ 住はすべしとおもふべからず

十余余り前のことですが、私の町内では六十五歳で老人クラブに入会することになっていて、私も早速入会して今日までずっと会員としてお世話になっていきます。入会後何年かして老人クラブのお世話役をさせていただき、そのご縁で地域のお年寄りとは和気あいあいとしたまじわりを味わわせていただきました。ところが会話をしている中で、お年寄りには実に不平不満が多いことに驚かされました。いわばしてほしいことが山ほどあるのです。

布施奉仕ということばがありますが、「自分をすて」「おしみなく」「おもいやり」「みかえりを求めず」「物・心をささげる」等々でイメージされるものとして示されているようです。これはある意味では仏教の立場からすれば常識とも思われてきたのではないかと思います。布施奉仕をすることは通常(常識)の世間では決して悪いことではありません。

しかし困ったことに、布施奉仕は「わがこころよし」という自惚(うぬぼれ)を私の中に醸成します。

最初は困っている老人のため、人のためにと、いわゆる善意として手をさしのべても、いつのまにか「わがこころよし」が頭をもたげてくるもので

す。何ともしてみようがありません。

さて、業(ごう)ということばがあります。業とは行為・行いのことです。単なる行為そのものは善でも悪でもありません。しかしその行為を行う人の心根(こころね)によって、それは善業にもなり悪業にもなるのです。そうしてみますと私たちの心根なるものは生来自分のことをよしとし、実に勝手気ままで自己中心主義的生き方しか出来ていませんので、善業などできようはずありません。つまり人間のする行為は悪業でしかないのです。ですから本当の意味での布施奉仕からはほど遠いことになってしまいます。しかし、真宗の教えでは、布施奉仕をしなくていいということではありません。善業が問題になるのでなくて、「わがこころよし」と思うのが問題なのです。つまり自分をよしとし、勝手気ままな自己中心的にしか生きていないこの身を、弥陀のご本願に出逢うことによって徹底的に暴(あば)かれ自らの姿が照らし出されて知らされたところに、素直に頭が下がるその時、「わがこころよし」ということが叩き壊されるのだと思います。

南無阿弥陀仏(輪番)

茨木別院関連ホームページ

茨木別院 ➔ ibarakibetsuin.or.jp

いばらき大谷学園 ➔ ibarakibetsuin.or.jp/kids/

真宗教団連合ホームページ

<http://www.shin.gr.jp/>

真宗教団連合

検索

茨木別院 行事ご案内

9月

●みほとけの歌の会

日 時 2日(月) 午後1時半より

会 場 別院会館

●教如上人ご命日・同朋会(どうぼうかい)

日 時 5日(木) 午後1時半より

会 場 別院会館

講 師 加藤 恵氏

●秋季彼岸会 —お勤めと法話—

日 時 20日(金) 午後1時半より

21日(土) 午後3時頃まで

会 場 別院本堂

講 師 上寺 和親 師

●親鸞聖人ご命日・婦人会例会

日 時 28日(土) 午後1時半より

会 場 別院会館

講 師 茨木別院輪番

10月

●教如上人ご命日・同朋会(どうぼうかい)

日 時 5日(土) 午後1時半より

会 場 別院会館

講 師 加藤 恵氏

●みほとけの歌の会

日 時 14日(月) 午後1時半より

会 場 別院会館

●親鸞聖人ご命日・婦人会例会

日 時 28日(月) 午後1時半より

会 場 別院会館

講 師 茨木別院輪番



秋 季 彼 岸 会 の ご 案 内

「暑さ寒さも彼岸まで」とよく耳にします。夏の暑さも過ぎて秋の時候となりました。涼しくなったこの時季にお寺へお参りし、お浄土とお念仏の教えをたしかめましょう。

日 時

9月20日(金)・21日(土)

●両日とも午後1時半より
午後3時頃まで

会 場

茨木別院本堂

講 師

上寺 和親 師 (京都教区 近江第三組)
西蓮寺住職



立秋もとっくに過ぎて暦の上では“秋”なのですが、連日続く残暑には大人は少々、うんざり…といった感じですが、子どもたちは「暑い!」と言いながらも元気いっぱいです。いよいよ2学期が始まります。多くの行事がある学期となりますが、これらを経験していく中で子どもたちが、心身ともに大きく、たくましく成長できるように職員一同、力を尽くしてまいりたいと思います。



9月 2日 始業式
9日 誕生会
13日 運動会予行
21日 運動会
27日 敬老ふれあいデー

10月 4日 秋の遠足
10日 芋掘り(年中組)
21日 誕生会
13日~16日 保育参観・作品展

園庭開放 9月…5日・12日・26日
10月…3日・7日・10日・31日
あそぼう会 9月…19日 10月…17日



いばらき大谷学園では未就園のお子さんを対象に体験保育・見学会(予約制)を実施しています。参加をご希望の方はお早めにお申し込み下さい。

☆体験保育☆ 定員40名
9月4日(水) 10:00~11:00
「折り紙であそぼう」

☆見学会☆ 定員10名
9月…10日(火)・12日(木)
18日(水)
時間はいずれも10:00~11:00
お申し込みは072-624-0203 担当 廣戸



連日の暑さで身体も疲れ気味
少し涼しくなった頃“夏の疲れ”が出がちです。そんな時には、タンパク質とビタミンB1が効果的です。また、ニラや玉ねぎと一緒に摂取すると吸収率がアップ! しっかりと食べて体調管理に気をつけましょう。



いばらき大谷学園

2020年度 1号児園児募集
☆願書配布 9月2日(月)より
☆願書受付 10月1日(火)
詳しくは担当 廣戸までお尋ね下さい





園長の一言

●「主体性」と「意欲」(前号からの続き)

「意欲」とは、物事を積極的にしようとする意志・気持ちのことです。

「意欲」の意味をこのように理解すると、前号で取り上げた「主体性」とあまり違いがないように思われるかもしれませんが。しかし、同じような意味合いのようですが、「主体性」とは自分の意志・判断によって、自ら責任をもって行動する態度であるとするれば、「意欲」は主体性を成り立たせる中身だと言えると思います。ある機関紙で岡崎女子大学教授の矢藤誠慈郎先生が次のような文章を載せておられるのに接しましたのでご紹介いたします。

『これからの時代の乳幼児期の教育・保育は、

- ・身近な環境に自分からかわりながら、
 - ・さまざまな興味や関心をもち、
 - ・やりたいと思ったことに向かって、
 - ・自分なりに考えたり、工夫したり、試したりし、さらに
 - ・友達と話し合ったり、考え合ったりして試行錯誤する
- という姿をめざすものです。』

この中で中心になる要素は、「さまざまな興味や関心を持つ」ということでもあります。

本題になりますが、子どもに意欲を養うためには、まず遊びの中で興味や関心に突き動かされることだと思います。子どもに意欲を育てようとするなら、常に意欲的に活動することが継続していることが第一条件になります。その意欲を誘発するものが興味とか関心になるのです。興味や関心の大切さは、子どもが強い興味・関心に触れると、そのことをやりたいと突っ走りますし、そのことにのめり込みますし、持っているものを離しても突き進みますし、汗水たらして没頭します。それは子どもが生来持っている野性的本能とでもいえるものだと思います。そういう活動のさなかに、子どもは試行錯誤をするのです。これからの子どもには是非とも必要なのは試行錯誤です。試行錯誤を繰り返す中で、いわゆる創造性というものが培われるのです。学校教育では最近の子どもの弱点としてこの創造性の乏しさが指摘されていて、その回復に大いに力を注ぐことの重要性が喫緊の課題だと言われています。このことに関して、矢藤先生は次のようにおっしゃっています。『ある小学校の校長先生が、しっかり遊んでいる子どもほど、学びに向かう姿勢が身についており、先生の話も興味をもってしっかりと聞くことができます』と。意欲的に取り組むことのできる子どもには、創造性も養われ、今後を生きる力としての主体性もしっかり身につくのだと知らせていただきました。

園長(高本文善)

暁天講座

七月二十五日二十六日に暁天講座を開催しました。講師として昨年に引き続き大谷大学教授の一楽真師に来ていただきました。「人間にとっての救い」を講題にご法話いただきました。朝早くからたくさんの方が聴聞にいられていました。法話終了後には今年も株式会社小堀仏具店様よりパンと飲み物をご用意いただき、お参りに来られた方々にお持ち帰りいただきました。



お盆墓法要

八月七日午前十時より茨木別院会館にてお盆墓法要を行いました。とても暑い日でしたが、たくさんの方がお参りに来られました。また会館での法要でしたので涼しい会場でお参りすることができました。

盂蘭盆会

八月十三日十四日に盂蘭盆会のお勤めを行いました。毎年この法要で初盆を迎えるお家の方々もいっしょにお勤めしています。台風が接近しており風の強い日でしたがたくさんの方がお参りに来られていました。



合祀墓のご案内

茨木別院墓地敷地内に合祀墓を設けております。合祀墓ですが、個別で納骨する事もできます。納骨をお考えの方は一度ご見学下さい。



須弥壇納骨のご案内

本堂須弥壇(阿弥陀様)の下に納骨壇を設けており、ご納骨することができます。

●冥加金

別院門徒・ご崇敬内門徒

一体 七万円以上

他宗門徒

(真宗大谷派に所属する寺院・僧侶・門徒に限らせていただきます。)

一体 十万円以上

●詳細は茨木別院事務所で

☎〇七二一六二二二九〇三

茨木別院門徒会

年会費についてお知らせ

茨木別院門徒会役員会において今後の別院運営を考えて役員の方より、茨木別院門徒会年会費の改正が提案されました。

現在は、一口千二百円の二口以上の年会費を集めさせていただいております。改正後は、一口千五百円の二口以上で年会費を集めさせていただきます。

ご門徒の皆様にはご負担お掛けしますが、来年度の年会費より変更させていただくことをお知らせいたします。どうぞご協力よろしくお願いたします。

茨木別院門徒会
本山九日講
合同研修旅行

六月二十四日・
二十五日に郡上八幡・
高山へ合同研修旅行
を行いました。



敬 弔

ご生前のご遺徳を偲び、謹んで哀悼の意を表します。(敬称略)

記

法名 釋吉正

俗名 近澤 孝吉

九十歳

法名 釋尼妙信

俗名 赤田 種子

八十九歳

株式会社 花 廣

— 生花・供花・けいこ花 —

茨木市大手町一二一八

☎(〇七二)六二二一四〇二

編集後記

昨年の台風21号で被害を受けてから一年が経ちました。今年も台風が何度か上陸し、別院のあちらこちらで雨漏りがあります。日頃から出来るだけの備えを心がけることの大切さを痛感させられます。

岡崎 康祐

とある寺院の掲示板に「自分の足元を見ない者を幽霊という」とありました。後先ばかり気にして、私の現在地(今)を疎かにしていませんか?という問いかけに咄嗟に目を背けてしまいました。恥ずかしいことです。

墨林 尚顕

今年の夏も連日猛暑日といわれるような暑い日が続いていました。九月のお彼岸の时节には、暑さもおさまり、たくさんの方にお参りしてもらえればと思います。

竹内 明人